

きずな

第12号

平成22年5月16日発行

今月の顔

鈴木 十三男さん
大網界限で、毎日
ゴミ拾いをしてく

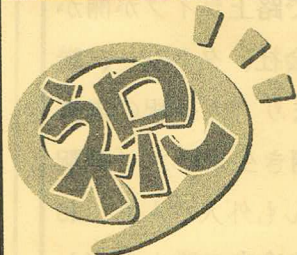


れています。ご自身の健康のために散歩しながら、自分に出来る事とゴミ拾いを始めたそうです。最近、拾うゴミも少なくなって来たそうです。町が綺麗になってきた証拠、鈴木さんのおかげですね。ありがとうございます。

まちサポ開所1周年

みなさま、ご協力

ありがとう



ご指導をよろしく願います。

一年間当番をして下さった皆様の協力があつたからです。有難う御座いました。また町当局、県政策企画課地域振興室、町会議員、協力団体、協力下さった町民など多くの方々のご指導ご支援ご鞭撻が有ったからです。心から感謝申し上げます。二十二年度も住み良く明るいまちづくりに、所員一同頑張りますので、本年もご支援



一周年に当たって
あつという間の一年でした。
所長 黒川 有昌

まちサポに
来てね!

6月

行事予定

6/10 10:00 ~ 12:30

ほっとけーき・ピュアさんがいれる
コーヒーを飲みながら、音楽を
楽しみましょう。

6/28 10:00 ~ 11:30

13:00 ~ 14:30

シェイクハンズさんのエコキャ
ップの仕分け作業を行います。

※どちらも誰でも参加出来ます。

まちサポ協働語録

三澤 清隆

協働は、町民主体の市民団体と行政、あるいは市民団体と市民団体が地域社会の共通する課題の解決に向けて、互いがパートナーシップの立場で機能し合い補完し合う概念です。

特に、市民団体はノンプロフィット（非営利）で、ボランタリー（自発的）で、インデペンデント（自立・孤立）した組織で有ることが特性です。

市民活動における協働は、連携する相互に存在する考え方の相違を、目標達成のために方法論を乗り越え、課題を共有して互いに責任と分担を明らかに、協力関係を築いていくことが大切です。

[協働の考え方で必要な原則]

- (1) 協働の目的を共有する。
- (2) 互いの立場や特性、存在を認識し合う。
- (3) 双方がヨコの関係に有ることを認め合う。





5月4日 晴天
 中村農園レンゲ祭り

中村農園のレンゲ祭りに参加しました。参加者との交流や、地元の味覚、歌声コンサートなど、楽しみ盛りだくさんでしたが、4歳の娘のお目当てはやはりレンゲ。

一面に広がる可憐な花を一心に摘んで、「摘んでも摘んでもまだあるよ～」と音を上げるほど。帽子に花輪を飾ってお姫様になったり、ブーケを抱えて花嫁さんになったり。娘にとってこの風景

が故郷の原風景になるのかと思うと、都会で生まれ育った私はとても羨ましくなりました。(川畑 雅代)



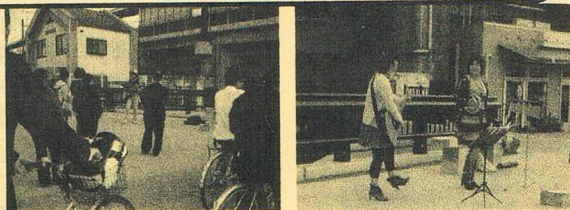
会員団体の活動風景

楽しんで来ました！ 網駅ライブ

毎月第2金曜日に、大網駅で路上ライブが開かれています。JR 駅長、バス会社、タクシー、議員、駐輪場、地域住民が集まり「大網駅の未来を考えるシンポジウム」を開き生まれた「網駅ライブ」。学校帰りの学生さんも外人さんも、おかあさん、駅を利用する帰宅途中の誰もが楽しんでました。

次回6月11日 16時半

「大網駅を安全で美しくする会」



まちづくり未来塾

「未来を織りなす手づくり塾」

毎月第2金曜日と第4木曜日の午前中はまちサポで、和やかに編み物教室が開かれています。思うように編めなくて四苦八苦。やがて、すてきな作品が出来上がり、うれしそうな笑顔が広がります。

皆さん輝いていますよ。



がんばって
 ま～す

2年目の1号は、今までと趣向を変えた「きずな」にしてみました。編集室を飛び出して、町のホットな話題を見つけて、皆さんにお届けしたいと思っています。皆さんからの情報もお待ちしています。今後ともよろしくお願ひいたします。

編集後記



国体おもてなしの会

聴覚障害者の大会に向けて、簡単な手話の講習会を開いています。又、チーバくんの折り紙教室も随時行う予定です。準備を進めます。

お陰様で私どもの団体では、先般の出会いフォーラムに於いて有能な人材にご加入いただき、今後の活動への基礎固めが出来ました。今後ともまちサポの企画・運営によるこの種のイベントが実践され、市民活動の活発化と健全なまちづくり活動が推進されますよう祈念申し上げます。

と同時に深謝申し上げます。



まちサポの総会を祝う

大網白里文化協会・副会長

「十枝の森を守る会」代表 武井 實